

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第65回）

日時：2018年7月20日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・上野浩道・内藤俊史・齋藤智哉・青柳路子 各兼任研究員
吉久知延所長・泉水里香

欠席：金沢千秋

内容：（1）齋藤智哉氏の紀要執筆分「第1章「青年の自立と教育文化」研究の視座—日本社会の青年像をどうとらえるか—」の第2節原稿発表と検討

◆第2節「現代社会と青年」

- （1）本節の問題意識と概要：「戦後の青年期」の終焉と若者論
- （2）高度経済成長期以降の青年をめぐる社会状況
- （3）先行世代の喪失による青年のアイデンティティの揺らぎ：1970年代の青年
- （4）消費の主体としての「若者」の登場：1980年代の青年
- （5）青年の自立とコミュニケーション：1990年代以降の青年
- （6）青年の自立を再考する—「成熟の幻想」を超えるために—

◆第4章は次回の研究会で発表予定

（2）青柳路子氏の紀要執筆分「第7章 親を亡くした青年の「自助」と「連携」—あしなが育英会の支援と教育文化から—」の章構成発表と検討

◆はじめに

1. あしなが運動と青年

- （1）運動の原点—家族を亡くした青年たちの〈投企〉
- （2）青年たちによる遺児支援の駆動—大学生の募金活動を通じた連携へ

2. あしなが育英会の「教育」の取り組み

- （1）あしなが運動における遺児教育の必要性とその変遷
- （2）「つどい」における「教育」
①つどいの組織体制／②つどいのプログラム／③つどいにおける「教育」
についての考察

（3）あしなが運動における「自助」と「連携」の思想

3. 遺児たちの課題と自立に向けた歩みへの支援

- （1）グリーフとロールモデルの喪失という課題
- （2）遺児たちの自立に向けた歩みと支援

おわりに

・次回の研究会は、2018年8月20日（金）14:00～。